



青少年赤十字創設100周年直前

# 「令和3年度青少年赤十字 スタディ・プログラム」が 開催されました



## 青少年赤十字

第30号

発行 日本赤十字社  
発行 三重県支部  
令和4年3月

例年3月に、日本赤十字社主催で高校生新リーダーが、「青少年赤十字スタディ・センター」というリーダー養成研修を受けます。山中湖村にて4泊5日の研修会なのですが、昨年度から新型コロナウイルス拡大にともない、WEBによる研修に変更され、「青少年赤十字スタディ・プログラム」と改称されて実施されました。



### スタディ・プログラムによるこそ！

この「青少年赤十字スタディ・プログラム」では、これからの青少年赤十字活動を考えるとともに、リーダーとして問題を解決するためのヒントや新型コロナウイルス感染症の影響下で「人道のこころ」について考えます。

「人道」すなわち、誰の心の中にもある本来の「やさしさ」や「思いやり」の心が赤十字活動の一番大切な部分であるということは、青少年赤十字活動を日々実践しているメンバーのみなさんは、ご存じだと思います。全国各地から参加する青少年赤十字の仲間たちと思う存分積極的にオンラインで意見交換しましょう。是非、様々なことに「気づき」「考え」「実行」してください。

来年は、青少年赤十字創設100周年を迎える記念すべき1年となりますので、是非、全国の仲間たちと一緒に盛り上げていきましょう。  
(スタディプログラム参加者ガイドより)



ることとなりました。三重県支部からは、白子高校2名、紀南高校1名、木本高校2名、豊里中学校2名の計7名が、12月25日（土）26日（日）の2日間、日赤三重支部に日帰り集い、全国のメンバーとリーダー研修や交流会を行いました。



午前のフィールドワークは、3つの課題についてホームルームで話し合いました。「100周年SNS企画」「防災」「国際理解・親善の3つです。参加した7名は、青少年赤十字の精神や実践目標・態度目標などをたっぷり学ぶことができたので、これから始まる100周年イベントでその力を発揮してほしいと思います。

2日目

12月26日(日)

10:00 フィールドワーク  
11:00 フィールドワーク講評  
12:00 青少年赤十字のこれから  
14:20 ホームルーム  
15:00 閉会式

緊張した雰囲気の中のスタートでしたが、毎回ホームルームに集合してグループ交流を行うことで、三重県メンバーもだんだんと打ち解けていきました。

1日目

12月25日(土)

10:00 開会式  
10:30 リーダーとコミュニケーション  
11:30 ホームルーム  
12:30 人道のこころ  
13:15 特別講演(ネスレ日本)  
14:00 創設100周年に向けて  
14:30 ホームルーム

## 献血ってなあに？ 16歳からできるんだよ！ 血液センターより

### 献血とは？

病気の治療や手術などで血液が必要な人たちのために、血液を分けてあげることです。

### なぜ献血が必要なの？

血液はまだ人工的に作ることが出来ません。また、生きている細胞が入っているのであまり長い間保存ができないからです。

三重県内の  
献血ルーム

三重県赤十字血液センター  
四日市献血ルーム「サンセリテ」  
伊勢献血ルーム「ハートワン」

定休日：土曜日、年末年始  
定休日：年末年始  
定休日：金曜日、年末年始



献血バス



四日市献血ルーム

| 献血の基準 | 200mL献血                | 400mL献血              |
|-------|------------------------|----------------------|
| 年齢    | 16歳から                  | 男性：17歳から<br>女性：18歳から |
| 体重    | 男性：45kg以上<br>女性：40kg以上 | 男女50kg以上             |
| 出来る場所 | 献血ルーム                  | 献血ルーム・献血バス           |

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目191番地 Tel.:0120-05-5632  
〒510-0075 三重県四日市市安島1-3-31 トナリエ四日市5階 Tel.:0120-39-5863  
〒516-0008 三重県伊勢市船江1丁目471-1 ミタス伊勢内 Tel.:0120-25-7821

## 青少年赤十字創設100周年記念事業

# 青少年赤十字ポスターコンクール入賞作品



青少年赤十字ポスターのご応募ありがとうございました。三重県の小・中・高校より19校586点の作品が集まりました。コロナ禍で思うように推進ができな中、ご協力をいただき本当にありがとうございました。1月27日に、二次審査会を開催し、最優秀賞(1点)・優秀賞(2点)・入選(17点)作品が決定しましたので、ご紹介いたします。

### ..... 講 評 .....

青少年赤十字創設100周年記念事業として行われたポスターコンクールに、県内より多くの応募があり、丁寧に慎重に審査をさせていただきました。それぞれの作品には、青少年赤十字の実践目標を理解し、訴えたい内容を、自分なりの表現で一生懸命表したという意気込みを感じました。どの作品も素晴らしいです。

そのような作品の中から、一次審査を経て二次審査に進み、最優秀賞1点、優秀賞2点、入選17点を選出させていただきました。

最優秀賞、浅井四葉さんの作品は、丁寧にきつり色がつけられ配色も良く、「繋げよう 心のバトン」という言葉が添えられていますが、ポスターを目にしただけで赤十字の活動の主旨が伝わってきました。優秀賞、二作品について、横平珠杏さんの作品は、コロナ禍において、JRCの活動や医療従事者への感謝など自分が知り得た内容を効果的に配置し、なお且つ可愛らしくまとめられていました。そして辻咲良さんの作品は、中学生の作品としてレタリングがしっかりしており、オレンジ色のグラデーションが美しく人物の服の色との兼ね合いも効果的で、「人を笑顔に」の文字をバックの黄色にしたことで優しさや温かみを感じました。

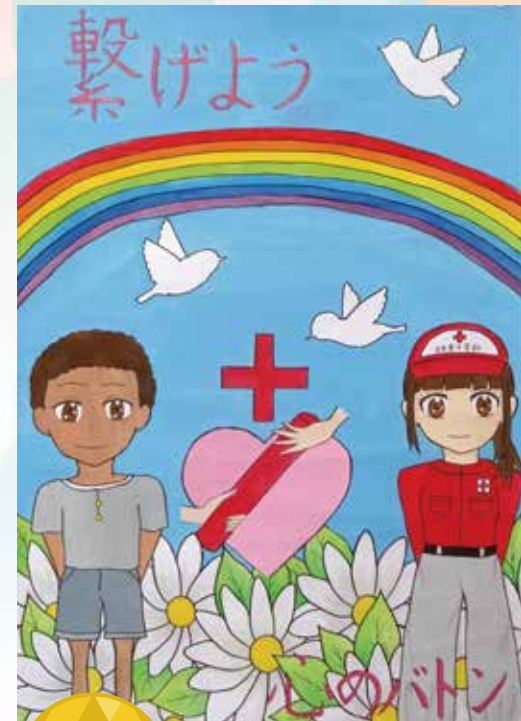
今回のポスター制作に取り組むことで青少年赤十字の活動を深く知り、視野を広げ、みんなの幸せを考えるきっかけになればと思いました。

審査委員長 古金谷 初美

### 優秀賞

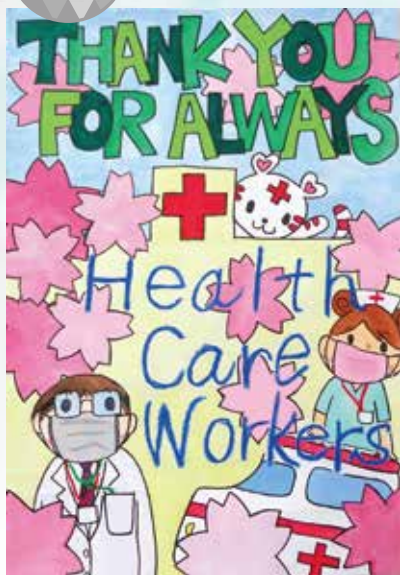


津市立久居中学校 1年  
辻 咲良さん



最優秀賞 松阪市立徳和小学校 6年  
浅井 四葉さん

### 優秀賞



度会町立度会小学校 4年  
横平 珠杏さん

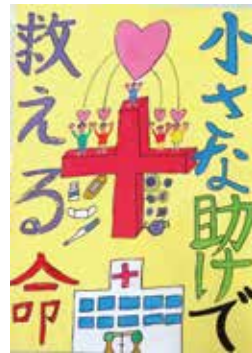
### 入選



度会町立度会小学校 5年  
大西 真衣さん



度会町立度会小学校 5年  
石井 唯愛さん



度会町立度会小学校 5年  
東出 颯太さん



度会町立度会小学校 5年  
丸井 悠楽さん



度会町立度会小学校 5年  
橋本 実玖さん



伊勢市立明倫小学校 6年  
中村 瑠那さん



松阪市立徳和小学校 5年  
田岡 琉愛さん



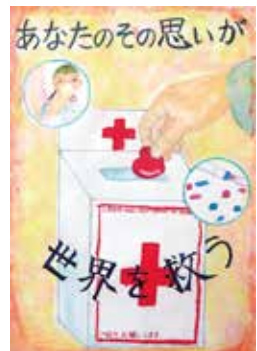
松阪市立徳和小学校 6年  
中川 華恵さん



松阪市立徳和小学校 6年  
吉田 奈仔さん



松阪市立徳和小学校 6年  
北川 依都さん



桑名市立在良小学校 6年  
生田 みゆさん



桑名市立在良小学校 6年  
池内 絵梨奈さん



桑名市立在良小学校 6年  
松岡 怜奈さん



津市立久居中学校 1年  
奥山 蒼来さん

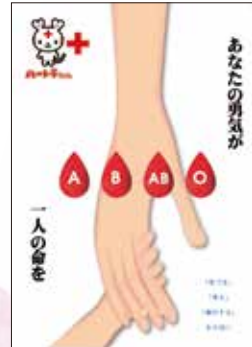


津市立西橋内中学校 1年  
河野 倫久さん



津市立一志中学校 2年  
北辻 穂花さん

編集後記  
青少年赤十字創設100周年にあたり、その歴史の中で一貫して大切にしてきたことは、人道のこころです。苦しんでいる人に寄り添える「気づき」ができ、何ができるかを考え実行に移す勇気あるリーダーの養成であります。  
コロナ禍ではありましたが、31校・園に出前授業に伺いました。出会うすべての子どもたちに、青少年赤十字の心を伝えてきたつもりです。その種は、かならず芽生え成長してくるもの、信じています。  
また、各学校では、100周年にむけたポスターコンクールの取り組みも行っていました。これも、9月の緊急事態宣言で授業や行事等が思うように実施できない学校現場にも関わらず、多くの学校で取り組んでいただけたことに心から感謝申し上げます。「応募いただいた作品は、どれも子どもたちの思いが込められていて、とてもあたいたく気持ちがにぎやされました。  
令和4年度は、青少年赤十字の普及と実践の深化を願って、すべての子どもたちの心にとどく100周年イベントを推進していきたいと決意を新たにしています。  
一年間、さまざまな場面で青少年赤十字活動を支えていただき、本当にありがとうございました。



三重県立木本高等学校 3年  
向久保 みゆさん



たくさんのご応募  
ありがとうございました。/



令和3年度三重県青少年赤十字

# 中学校連絡協議会 国際交流会

— ベトナム、ネパール、中国の方々と交流 — 令和3年12月11日(土)

令和3年12月11日(土)、津市立西橋南中学校で「中学校連絡協議会 国際交流会」が開催されました。11校の中学生26名がオンラインも交えて参加。現地参加の生徒たちはベトナムやネパール、中国の三重日本語学校生たちと交流し、異文化に接して気づきをえられる時間となりました。

県内11校の中学校で生徒会役員を務める生徒たちがオンラインと現地参加を含めて26名参加して行われた「中学校連絡協議会 国際交流会」。午前中は青少年赤十字の活動内容について理解したり、各校の活動報告を発表しながらオンライン参加の学校の生徒たちとも画面を通じて交流を深めました。

現地参加の生徒たちは午後からベトナムやネパール、中国の日本語学校生たちとともに4つのグループに分かれて交流活動をスタート。初めて直接触れる異国の文化に興味津々な生徒たち。当初の緊張がほぐれてくると、笑顔が浮かぶ姿も見られました。最後は聞き取った内容を各グループごとに発表。生徒たちの充実した表情が印象的でした。



交流の中で得られた知識を参加者全員の前で発表。緊張しながらもしっかりと説明できました。



積極的にコミュニケーションを取りながら初めて触れるネパールの文化への理解を深めていきました。



ネパール

## 国際交流会

ベトナム、ネパール、中国の若者たちと交流。コミュニケーションの扉を開ける力を身につける機会に。



ベトナム



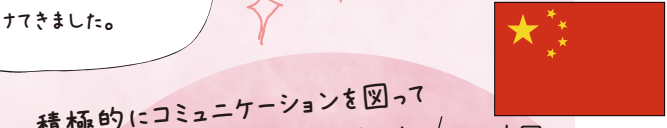
発表資料を作るという共通の目的に向かって力を合わせる内にコミュニケーションが深まっています。



ベトナム



熱のこもった時間とともに過ごす貴重な経験に。



中国



積極的にコミュニケーションを図って文化の違いを乗り越えられました。

## オンライン交流



各校が活動内容を発表。WEB参加の中学校の生徒たちとも交流を深めながら進めました。



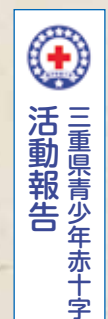
自分から話さなければ会話が始まらない状況を経験しながら、コミュニケーション能力を高めることができました。



日頃接する機会のない他校の生徒たちと現地やオンラインを通じて交流を深める貴重な機会となりました。



「出前授業について」令和3年度も、新型コロナウイルスの感染拡大により、学校現場では思うように活動ができず、行事が延長したり中止になったりしました。9月には、緊急事態宣言も出されました。そんな中でも、多くの学校・園より前授業の依頼があり、とてもありがたかったです。令和3年度は、21校園のべ2011名、31講座させていただきました。多くの子どもたちに「青少年赤十字」に困っている人にあたかく関わること「コロナの3つの顔 防災プログラム」「炊き出し訓練」「救急法講習」「赤十字とSDGs」などについて、気づき・考え・実行することを学んでもらいました。令和4年は、青少年赤十字創設100周年です。さまざまなイベントを考えていますので、出前授業ともどもどうぞよろしくお願い致します。



三重県青少年赤十字活動報告

## 「出前授業について」

令和3年度

# 三重県青少年赤十字のつどい

令和3年12月18日(土)

令和3年12月18日(土)、三重県勤労者福祉会館で「青少年赤十字のつどい」が2年ぶりに開催されました。7校38名の高校生たちが参加し、各校のイベントブースで交流を深めるとともに防災教育プログラムを体験するなど、赤十字への理解を深める貴重な機会となりました。

## パフォーマンス 白子高校

皿回しのコツを教えてもらってみるみる上達していく生徒たち。笑顔が弾けていました。



やってみたら意外とできた！



上手に完成して大満足！

## バルーンアート 木本高校

さまざまな形状のバルーンアートを体験。完成した瞬間には思わず笑顔がこぼれます。

## ハンドベル 久居農林高校



皆で息を合わせて演奏。緊張しながらも達成感のある体験を通じて一体感が深まります。

## 防災教育プログラム 「食料をみんなでわけよう」

各自、あらかじめ決められた条件に従って行動しながら気づきを深めます。



限られた食料や水をどう分け合えばいいの、活発に意見が飛び交いました。

被災地の避難所に集まったという設定。各自が家族構成や持っている食料、定められた役割といった条件を元に、どのように食料を分け合えばいいかを話し合います。2日間食料が足りないという状況の中で、妊婦や子どもへの食料を回すか、水はどのくらい必要かなど、各自がさまざまな立場に身を置きながら活発な話し合いが行われました。

## アイスブレイキング ピクチャー伝言ゲーム

元絵を見た生徒がイラストを描く生徒に情報を伝えてできる限り再現していきます。



元のイラストは校舎の絵。自分の目で見た情報をどこまで正確に描き手に伝えられるか。懸命な伝達作業の中で交流が深まりました。

## SDGsクロスワード 高田高校



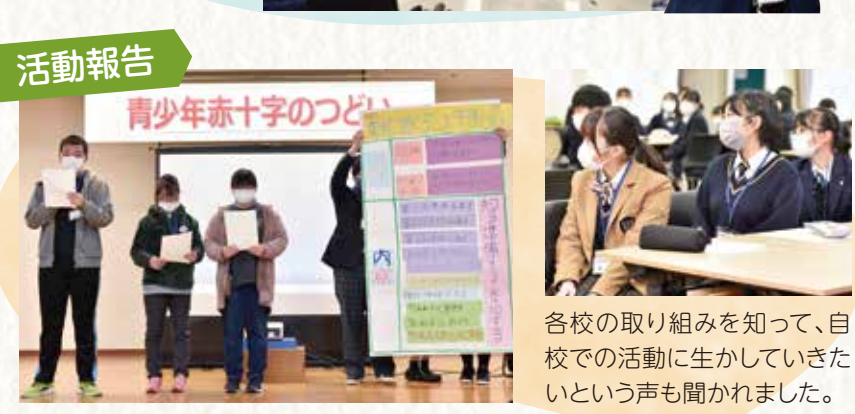
クロスワードパズルを解きながらSDGsへの理解を深めることができました。

## ボッチャ 紀南高校・東紀州くろしお学園

各回ごとに大勢の生徒たちが参加し、白熱した戦いが繰り広げられていました。

## アイスブレイキング フルーツバスケット

自己紹介を兼ねたゲームの中で初めて出会った他校の生徒たちと一気に打ち解けました。



## 活動報告



各校の取り組みを知って、各校での活動に生かしていきたいという声も聞かれました。

## 赤十字つながり

出会う つながろう みんなでゆこう 青少年赤十字 手をつなごう 絆を結ぼう 青少年赤十字 みんなで広げよう 百年の歴史

三重県立特別支援学校 東紀州くろしお学園 高等部 1年 中田 華音

「青少年赤十字のつどい」に参加して、心に残ったことを詩にしてみました。

